

て、「このあえず聞いて ておた。

みるといつ姿勢から、名古屋市の一般社団具体的に動く段階にシ法人「持続可能なモノフトしつつある」と指づくり・人づくり支援摘。刻一刻と変化する協会(ESD21)は、最新情報を的確に伝えトヨタ自動車などの企業OBが中心となり、る機会を設けていく。

行っている。鈴木氏は「ミャンマーは資源が豊富で人の気質も日本人と合っている。しかし、ビジネスに関して日本は中国や韓国に後れを取つている」と話す。経験で知った厳しい現状も率直に伝えるなど、支援

相談窓口や研究会で  
最新情報伝える

厳しさも率直に

・国際ビジネスグルーピの担当者は、ミヤンマービジネスについて

中部地区の中小企業のミャンマー進出を支援する動きがじわり広がっている。支援を充実させる公的機関に加え、知識と経験を支援に役立てようとする民間団体も事業を拡大している。

(加納由希繪)

# ミャンマー進出支援充実

中部経済新聞社 本紙 2014年01月14日 002面 01版